

## 魚津市行財政改革推進委員会 第2回会議 会議録（要旨）

### 【開催状況】

- 1 開催日時 令和4年2月25日（金）19:00～20:30
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員等  
布目会長、伊藤委員、石川委員、稗苗委員、若林委員、本田委員、大崎委員、上坂委員、飛世委員、川合委員、大野委員
  - (2) 市当局  
村椿市長、四十万副市長、南塚企画部長、富居総務部長、武田民生部長、宮野産業建設部長、宮崎総務部次長、窪田教育委員会次長、牧上下水道局次長、二塚財政課長

### 【関連資料】

- 資料No.1 行財政改革の進捗状況について
- 資料No.2 水道ビジョンについて

### 【会議内容】

- 1 開会
- 2 市長挨拶

#### （挨拶要旨）

皆様、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

魚津市は、2月18日（金）に令和4年度の当初予算を発表しました。予算規模は、約185億円で、過去3番目の規模となる積極予算となっています。予算規模が大きくなった理由は、コロナ対策に加え、（仮称）本江地域交流センターの整備、室内温水プールの整備等の社会資本整備に着手したことが挙げられます。

予算規模が大きいことが良いというわけではなく、お伝えしたいのは、過去2番目の予算規模で令和4年度と同規模だった平成29年度との違いです。平成29年度は、よつば小学校・星の杜小学校の整備があり、当初予算を組むために財政調整基金やその他の基金を取り崩していましたが、令和4年度は、当初予算において財政

調整基金の取り崩しをしておらず、その他の基金も財政が苦しいという理由では取り崩しをしていません。

魚津市は、令和元年末に財政健全化計画を策定し、令和2年度から令和6年度までの5年間で財政健全化に取り組んでいます。この計画の目標は、基金に頼らない財政運営を行うことと、災害などの万が一に備えるために財政調整基金を10億円以上確保することの二点でした。基金に頼らない財政運営は、このたびの当初予算でも達成しています。財政調整基金は、今年度末で約8.6億円を見込み、大きな災害等が無ければ、令和4年度末に目標の10億円以上を達成する見込みです。

市民の皆様には魚津市の財政状況を理解していただきながら、令和4年度は、市政70周年という記念すべき年になるので、前に進んでいく、力強い歩みができる年にしていくことを、皆様と一緒に確認する年にしたいと思っています。

一方で、課題はまだたくさんあります。今日は、行財政改革推進委員会ということで、人口減少に伴う公共施設の再編と、上下水道事業をどのように持続可能なものにしていくかがテーマとなります。

将来を見据えた取り組みを、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

よろしく申し上げます。

### 3 議題

- (1) 行財政改革の進捗状況について
- (2) 水道ビジョンについて

【以下、質疑、意見等】

- (1) 行財政改革の進捗状況について

**会 長** 財政健全化計画の対策の実績について。効果額が大きいのは人件費削減の項目だが、これは、定員管理計画において予定されていたものか、イレギュラーなものか。

**当 局** いくつか要因があるが、主なものは、アウトソーシングや外部委託を進めた結果と、想定以上の中途退職等によるもの。

**会 長** 財政健全化計画全体では目標を達成しているが、市税徴収率の項目が未達成である点について、反省や努力などを伺いたい。

**当 局** 公平性の観点からも、市税徴収率の項目をしっかりと達成すべきであると考えている。新型コロナウイルス感染症の関係で徴収猶予を設けていることも影響しているが、市税徴収率の向上に努める。

委員 新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、使用料見直し等による効果額は、目標を上回っている。新型コロナウイルス感染症が収まった後は、更に効果額が見込めるか。

当局 新型コロナウイルス感染症の影響による収入減については、回復すると思われる。

委員 今年度は大雪だったが、基金の残高が増加した要因は何か。

当局 繰越金の増などがある。

委員 室内温水プールの整備について。学校のプールを集約するという事は、水泳の授業は、校外で行うことになるのか。

当局 新しく整備するプールで授業を行う。各校のプールは、整備から40年以上経っているものもある。各校のプールを更新するためには、それぞれ約1億円かかる見込みであることから、更新ではなく、集約化を図る。設備の老朽化などにより、今年度は既に星の杜小学校と清流小学校の授業を室内温水プールで実施している。令和4年度は、経田小学校を加えた3校で実施する予定。

会長 旧小学校の利活用の推進について。第1回の委員会の資料の中で、令和5年度までに、よつば小学校区と星の杜小学校校区でそれぞれ1校の利活用の推進を目指すがあったが、今回の資料の中では、星の杜小学校校区で1校の利活用の推進となっている。よつば小学校区における利活用が進んだのか。

当局 令和4年度に解体予定の旧上野方小学校の利活用が、よつば小学校区における利活用に該当する。

委員 人件費の削減について。目標を達成しているが、更に削減を進めるのか。

当局 人員の過剰な削減は、サービスの低下に繋がる可能性がある。会計年度任用職員等も活用しながら、計画に沿って定員管理を進める。

## (2) 水道ビジョンについて

会長 経営計画（経営戦略）について。令和4年度に策定を予定しているが、今回見直しを行っている水道ビジョンへの反映タイミングはいつか。

当局 5年後の見直しのタイミングで考えている。

会長 課題の一覧について。平成24年の水道ビジョンからの継続項目について、未達成という意味ではなく、継続して対策が必要ということか。

当局 終わりがなく、継続して対策が必要なもの。

会長 PI（業務指標）について。法定耐用年数超過設備率の令和13年度目標が0%となっている一方で、浄水施設・配水池・期間管路の耐震化率の令和13年度目標はそれぞれ100.0%・93.0%・40.1%となっているが、これらの指標は、必ずしもリンクしないものか。

当局 法定耐用年数超過設備率の目標は、上水道浄水施設のみの指標で、令和13年度までに対策が完了する予定。

会長 重要な投資の先延ばしはないか。

当局 10年の計画の中で対策を見込んでいる。配水池の集約化などを進めるとともに、必要な対策を実施する。

会長 令和8年度に財政収支が逆転する見込みだが、計画的な投資と貯金の取り崩しにより対応することで、当面は現在の料金を維持する計画となっている。状況の変化により変わる可能性もあるが、そのあたりを来年度の経営計画（経営戦略）策定業務の中で精査することになるのか。

当局 その予定。

委員 水道はライフラインで重要な施設だが、どれだけコストがかかっているかなどの情報を市民がどれだけ理解しているかわからない。今回の資料はわかりやすく、状況をよく理解することができた。

当局 市民にもわかりやすい形で説明をしていきたい。

委員 料金が高いと思っていたが、説明を聞くと致し方ない。数年後にはまた高くなるのかもしれないが。

会長 市民アンケートでは、料金の値上げをしても、必要な対策を行うべきとの結果が出ているようだ。

当局 必要な対策を全て行おうとすると、多大なコストがかかる。そのため、例えば、基幹管路の耐震化について、本来は100%を目指すべきだが、まずは、県平均である40%を目指すという計画になっている。

2年前に値上げを行ったが、その中で、可能な限り対策を行う。令和8年度に財政収支が逆転する見込みだが、今回の水道ビジョンの見直しや経営計画（経営戦略）を策定する中で、収支が逆転しないように努めたい。

委員 除雪業者が不足していると聞いた。配管業者は確保できているか。

当局 業者数自体は維持しているが、人員が減っている業者もある。

委員 他県の方からは、水がおいしいと言われる。次世代に繋げていく必要がある。水道に限らず多方面から、若い人に魚津を好きになってもらいたい。

委員 魅力的な地域にするためには、行政と地域が協働する必要がある。工事に住民自らが携わっていくことで、効果を上げている地域もあると聞く。そうすることで、市民が地域に愛着を持てる。

委員 一部、先送りとなることが仕方ない部分はあるが、計画をきちんと進めて欲しい。水道のみで収支バランスをとるのは難しいので、円筒分水の観光など、収入増も考えてはどうか。

当局 そういう視点も必要なので、考えていきたい。

以上